

4

デイサービスセンターの管理及び運営に関する事務 （若槻デイサービスセンター、戸隠中央デイサービスセンター及び信州新町デイサービスセンターに限る。）

経緯

デイサービス事業は、在宅で生活する要援護老人の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上、家族の身体的・精神的負担の軽減を主な目的として事業実施してきました。

年月	受託施設名等
昭和63年1月	長野市から特別養護老人ホーム松寿荘に併設して建設された若槻デイサービスセンター定員25人の管理・運営を受託した。
平成6年4月	牟礼村（現飯綱町）から特別養護老人ホーム矢筒荘に併設して建設された、むれデイサービスセンター定員15人の管理・運営を受託した。
平成8年4月	戸隠村（現長野市）から特別養護老人ホーム豊岡荘に併設して建設された戸隠中央デイサービスセンター定員15人の管理・運営を受託した。
平成11年4月	信州新町（現長野市）から特別養護老人ホーム久米路荘に併設して建設された信州新町デイサービスセンター定員23人の管理・運営を受託した。
平成12年4月	「長野広域連合」に設置運営主体が移行するとともに、介護保険制度が施行されデイサービスセンターが通所介護事業所となる。 むれデイサービスセンター及び戸隠中央デイサービスセンターの定員をそれぞれ25人へ、信州新町デイサービスセンターの定員を30人に変更した。
平成18年3月	むれデイサービスセンターの運営を飯綱町へ移管した。

現状と課題

長野広域連合が運営するデイサービスセンターは、介護保険制度施行前から地域のデイサービスセンターとして定着・利用されてきました。

各施設においては、広範囲に居住する利用者が多いため、送迎に比較的時間と労力がかかっていますが、地域の利用者の実情を考慮しつつ、サービスの向上につながるよう努める必要があります。

また、平成26年6月の介護保険法の改正により、平成29年4月までに予防給付から新たな総合事業に移行するデイサービスについては、関係市町村の移行状況を見ながらどのようなサービス提供が可能か、検討する必要があります。

●長野広域連合が運営するデイサービスセンターの概況

施設名	所在地	認可年月日	定員(人)	建物面積(m ²) 敷地面積(m ²)
若槻デイサービスセンター	長野市上野二丁目120-4	S63.1.29	25	328.00 798.18
戸隠中央デイサービスセンター	長野市戸隠豊岡1384	H8.4.1	25	539.24 539.24
信州新町デイサービスセンター	長野市信州新町日原東2186-1	H11.4.1	30	841.58 841.58

今後の方針及び施策

- 地域の福祉、医療等の関係機関との連携を図り、サービスの質の向上に努め、地域での在宅生活を支える支援を行います。
- 運営については、関係市町村との連携を密にしながら、新たな総合事業への対応など利用者ニーズを的確にとらえ、環境の変化に対応できる基盤づくりを進めます。